



令和8年度 全国学力・学習状況調査の結果をふまえて

豊田市立竜神中学校 教務部

10月

4月に行われた全国学力・学習状況調査の結果から、本校3年生全体の状況及び今後の指導改善の取組についてお知らせします。この調査の目的は、生徒の学力・学習状況を把握し、一人一人の学習意欲の向上や学習内容の定着に役立てることにあります。個人票を配付していますので、お子さんの得意なこと、不得意なことを知り、学習に意欲がもてるような励ましをお願いします。なお、この調査で測定した力は、学校の教育活動の一側面としてお考えください。

●教科に関する調査の結果

	*	こんなところできています	こんなところが課題です
国語	おおむねできている	○文章の中心的部分と付加的部分について順序立てて捉えることができる。 ○語句の辞書的な意味を踏まえ、文脈上の意味を捉えることができる。 ○文章を読んで理解し、自分の考えを確かなものにすることができている。	・文脈に即して漢字を正しく書く。 ・段落相互の関係を明確にしながら、文章の展開を工夫する。 ・目的に応じて必要な情報を要約し、内容を理解することができる。
数学	おおむねできている	○起こりうる場合を、樹形図や二次元の表を用いて整理し、確率を求めることができる。 ○累積度数の意味を理解することができる。 ○箱ひげ図と四分位数の対応について理解することができる。	・同類項の意味を理解している。 ・数学的に表現したことを解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができる。 ・具体的な事象をもとに、証明する事柄の仮定を見いだすことができる。
英語	おおむねできている	○日常的な話題について、必要な情報を聞き取ることができる。 ○社会的な話題について話を聞き、概要を捉えることができる。 ○日常的な話題について、短い文章を読み、概要を捉えることができる。	・音声や語彙、表現、文法などの知識を、英語コミュニケーションにおいて活用できる。 ・音声や語彙、表現、文法などの知識を、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる。 ・日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、英文にすることができる。

*：教科の状況を全国と比較して「大変よくできている」「おおむねできている」「努力を要する」の3段階で表しています。

国語・数学・英語の授業では、次のポイントで改善します

国語	・資料や情報から読み取る活動や要約する活動、資料を活用して自分の考えをレポート等にまとめ、推敲する機会を増やします。 ・自分の意見を発表するときに、構成をよく考えて話すように手立てを講じます。
数学	・学級やグループでの話し合い活動を通して、自分の考えを深めたり、広げたりする場面を増やします。 ・数学的な意味や解き方について理解を深めるとともに、日常生活に関連させて考えたり説明したりする場面を増やします。
英語	・基礎基本となる知識・技能について、授業の導入で確認したり、学習アプリ Qubena を活用した個別最適な学習を取り入れたりして、定着を図ります。 ・習得した知識を使って、英語で会話したり作文したりするなど、英語によるコミュニケーションの機会を増やします。

● 学習および生活状況に関する質問紙調査（生徒アンケート）の結果

学習・生活習慣等のアンケートから分かった本校の状況を、全国との比較で紹介します。

< 生 活 >

【よい傾向がみられるアンケート項目】

- 学校に行くのが楽しいと思っている。
- 毎日同じ時間に寝たり起きたりしている。
- 困りごとや不安があるときに、先生や学校にいる大人に相談できる。
- 人が困っているとき、進んで助けている。
- 自分で学び方を考え工夫している。
- 学級生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めている。

【改善したいアンケート項目】

- ・将来の夢や目標をもっている。
- ・授業時間以外に、自分で計画を立てて勉強している。

< 学 習 >

【よい傾向がみられるアンケート項目】

- 学級での生活をよりよくするために話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めている。
- 総合学習では、個人で課題を立て、情報を集めて整理し、調べたことを発表する活動に取り組んでいる。
- 対話を通して、友達や周りの人の考えを大切に課題の解決に取り組んでいる。
- 学習について、分かった点やよく分からなかった点を見直し、次の学習につなげている。

【改善したいアンケート項目】

- ・自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表する。
- ・学んだことを実生活に生かしている。

【傾向のまとめ】

- ・朝はすっきり目覚め、楽しんで学校に通っている傾向が高いことが分かりました。
- ・人が困っているときに助けるなど、他者支援の意識が比較的高く、また相談できる環境で生活できていると感じている生徒が多いことが分かりました。
- ・学習について、分かった点やよく分からなかった点を見直し、次の学習につなげていると答える生徒が多く、全教科で毎時間振り返りを行ってきた成果が出ていることが分かりました。
- ・授業において資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表することが、昨年に引き続き課題として明らかになりました。
- ・学習と実生活のつながりを感じられていないことが見えてきました。



学校では、こんなことに取り組みます



- 各教科の授業や学級会等での話し合いにおいて、「相手に伝わったか」を大切にしながら話したり、相手の思いを汲み取って聞いたりする活動に重点を置くなど、対話の質の向上を図っていきます。
- 課題設定において、日常生活や社会に目を向けたときに湧き上がってくる疑問や関心に基づいて、自ら課題を見つけられる機会を増やしていきます。
- 昇竜プランニングノートを効果的に活用し、家庭でも計画的な学習ができるように支援していきます。
- キャリア教育や道徳教育を通じて、よりよい生き方を考えるとともに、将来の夢や目標、なりたい自分を思い描くサポートをしていきます。



ご家庭でのお子さんの様子について、考えてみませんか

この分析結果をもとに、本校では授業を中心に、改善に向けての取組を進めています。普段からお子さんのよさを認めることで、お子さんの自己肯定感や、難しいことにも挑戦しようという意欲が高まります。保護者の皆様には、お子さんの学習習慣や生活習慣の定着にむけて、温かい励ましをお願いいたします。